

01 教会ニュース

主の栄光のために集まった世界のクリスチャン医師たち

創造主なる神の力でいやされた事例を医学的に立証し、終わりの時の知識人を目ざめさせるWCDNの働き

02 いのちのみことば

人の子の肉と血を食べて飲んでこそ永遠のいのちを得る

私たちが神のことばをどれほど糧としたかによって、この地上だけでなく永遠の天国でも場所と報いが違い、暮らしの質が変わってくる。

03 証し

「どんな事にあっても何の心配もありません」

万民教会に出会って病気がいやされて和やかな家庭になったマレーシアのアンボン執事と、聖霊のみわざで虫垂炎がいやされた韓国のイ・キスク勳士の証し。

支教会9月スケジュール

04 証し

「神のみわざとしか言えません」

WCDN第15回ポーランド学会で医師たちが堂会長イ・ジェロク牧師の祈りを通していやし事例を発表して、神に栄光を帰した。

万民ニュース

第190号 2018. 8. 26.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

「医学で神の力を証明する働き、すばらしいです！」

WCDN第15回ポーランド学会、17か国400人余参加



今年6月16～17日、ポーランドのワルシャワで「霊性、医学、科学」をテーマにWCDN「第15回国際キリスト教医学学会」が開かれた。WCDN(世界クリスチャン医師ネットワーク)は神の力で病気が治った事例を医学的に立証する、全世界のクリスチャン医師の集まりで、毎年、教派を超えて学会を開催している。

今回の学会にはイスラエル、ロシア、スペイン、イタリア、ブルガリアなど17か国から400人余の医師と医療従事者が参加し、英語、ポーランド語、ロシア語、スペイン語で同時通訳された。二日にかけて計12件のいやし事例発表と4件の特講があった。

プレイズ&ワーシップと参加国の紹介後、組織委員長ダイラ・ウォズナル博士の歓迎の辞で学会が始まった。最初のセッションはアンデレ・カジロウスキー博士(WCDNイスラエル・ディレクター)の特講だった。WCDNの設立者であり理事長であるイ・ジェロク牧師の生き方と働き、そして本人が韓国で会ったイ・ジェロク牧師につ

いて伝えた。

彼は「学会の準備をしながら多くの医学専門家に会いましたが、彼らは超自然的な神のみわざについて伝えることを重要だと思っていました。それで私はイ・ジェロク博士の神の力ある祈りでいやされた多くの事例と、博士の神と主、魂のために生きる人生がクリスチャン医師たちに大きい感動を与えるだろうと思いました。ですから、私がじかに会った博士の生き方と働き、謙遜と愛について特講をしているのです」と語った。

続いてWCDN会長チェ・ユンソク博士の歓迎の言葉とイ・ジェロク牧師の神の力ある働きを紹介する映像が上映された後、本格的な事例発表が進められた。今年と同牧師の祈りでいやされた事例7件が発表された。

リュブカ・タンチェバ博士(ブルガリア)は脳出血のいやし、オルレシヤ・タナス医師(モルドバ)は上腕骨骨折のいやし、ダニエル・フエンテス博士(メキシコ)は胆嚢疾患のいやし、バハ・ブニアティアン博士(アルメニア)

は心不全のいやし、キム・ジュンソン博士(韓国)は視力回復の事例を発表した。また、ヤン・チャンギョ博士(韓国)が発表した悪霊につかれていた人のいやし事例は霊の世界の深さを知らせ、医学は制限的な治療にすぎないが、霊的な問題を解決すれば完全にいやされることができるという確信を持たせた。

また、デービッド・ユ博士(シンガポール)のムアの甘い水を通していやし事例の発表が聴衆の目を引いた。マラの苦い水が甘い水に変わった聖書のみわざ(出15:25)のように、イ・ジェロク牧師の祈りを通してムアン万民教会前の浜辺の塩辛い水が飲める水に変わった後、病気がいやされ、死にかけていた動植物が生き返るなど、神の力あるわざが現れている。この他にポーランドの医師たちが医学的な方法ととりなしの祈りでいやされた事例として腹膜炎、乳がん、脳出血、脳下垂体腫瘍、先天性胎児奇形など計5件を発表した。

特講の第二回はDVD映像を資料

にイ・ジェロク牧師の説教を基にした「いのちの種」、第三回はチェ・ユンソク博士の「病気の原因」についてであった。ドミトリー・クルーピン医師(ウクライナ)は「霊性を医学に接木させることは興味深いです。特講を聞いて、病気を治療する方法が霊的な方法でもありえるということを悟りました」と述べた。最後の特講はダニエル・ローゼン牧師(WCDN中東コーディネーター)による「イスラエル、過去、現在、未来」だった。

今回の学会組織委員長ダリア・ウォズナル博士は「祈りを通して現れた神のいやしのみわざについて聞くと心が躍ります。多様ないやし事例、霊的な成長のための特講、感動の公演など、すべてがすばらしかったです。このような良い機会を作り、祈ってくださったイ・ジェロク博士に感謝しています」と語った。

万民中央教会の芸能委員会の公演チームはポーランド語をはじめ計6言語で賛美し、ポーランドの伝統舞踊などを披露した。

人の子の肉を食べて、 その血を飲んでこそ永遠のいのちを得る



堂会長イ・ジェロク牧師

「イエスは彼らに言われた。

『…人の子の肉を食べ、
またその血を飲まなければ、
あなたがたのうちに、
いのちはありません。

…わたしの肉はまことの食物、
わたしの血はまことの
飲み物だからです。」

(ヨハネ6:53～55)

人が生命を維持するには食物を食べ、同時に水分を摂取しなければならない。水があつてこそ栄養素が消化、吸収され、不必要な老廃物と毒素が排出されるからだ。これは霊的にも同じである。私たちがイエス・キリストを信じて、水と御霊によって新しく生まれ、神の子どもとされる特権を得たならば、霊的ないのちを維持できるように、人の子の肉を食べ、その血を飲まなければならない。

それでは、どのようにして人の子の肉を食べ、その血を飲んでこそ永遠に生きることができるだろうか。まず人の子の肉を食べる方法について調べてみよう

1. 人の子の肉を食べるといふみことばの霊的な意味

人の子の肉を食べるとはどんな意味だろうか。永遠のいのちに至らせる、まことの糧であるイエス様の肉を食べるといふことである。

イエス様については<ヨハネ1:14>に「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」とある。<ヨハネ6:51前半節>には、イエス様が「わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きています。」と言われたとある。

このように「神のことば」すなわち「天から下って来た生けるパン」であるイエス様の肉をどう食べるかは、出エジプト記12章に記されている過越の祭りと羊のたとえとも関連がある。

一般に、羊は羊飼いの声にだけ従い、性分が柔和で人に益だけ与える。イエス様もただ神のみこころに従って、おとなしい羊のように罪のためのいけにえとなつてくださったし、人に良いものだけ与えてくださった。特に一歳の傷のない羊は交尾する直前の純潔な状態であり、霊的にはイエス様のことをたとえている。

<出エジプト12:7～10>を読めば、エジプト全域に初子の災いが臨んだとき、神がイスラエルの民に災いが臨まないように、羊の血を家の二本の門柱とかもいにつけ、家の中でその肉を食べるようになされた。そして、救いに至るように、羊を食べる方法まで教えてくださった。

2. 人の子の肉を食べる方法

1) 生のままで、または、水で煮て食べてはならず、火で焼かなければならない

ここで「火」とは聖霊の火を意味し、聖霊に動かされて神のことばを悟って、糧

としなければならないということである(IIペテ1:20～21)。もしみことばをそのように解き明かさずに曲解すれば、かえって真理から外れて滅びを招くと、聖書は厳しく戒めている(IIペテ3:16)。したがって、羊を「生のままで食べる」と「水で煮て食べる」とは、人の子の肉、すなわち、神のことばを聖霊によってではなく、私的に曲解することを言う。

まず神のことばを「生で食べる」といふことは、霊的な意味が悟れないで、文字そのままに解釈することを意味する。肉を生で食べれば、消化もよくできないし、おなかをこわしやすいように、神のことばも生で食べれば、解釈もとんでもないものになる。

たとえば、<マタイ6:6>に「あなたは、祈るときには自分の奥まった部屋に入りなさい。そして、戸をしめて、隠れた所におられるあなたの父に祈りなさい。」とある。しかし、聖書のどこにも昔の信仰の人々が奥まった部屋で祈ったという記録はない。イエス様も園や寂しい所で祈られた。したがって、このみことばは、祈るとき、世の憂い、心配や雑念で同じことばをただくり返さず、心から祈らなければならないという意味である。

次に、神のことばを「水で煮てはならない」とはどんな意味だろうか。みことばに対するとき、どんな世のものもつけ加えてはならないということである。神のことばは世のどんな知識より優れていて、唯一の真理であり、永遠に変わることがない。したがって、説教する時も、何かの知識や理論を伝えるのではなく、聖霊によって解き明かされた聖書のみことばを伝えなければならない。神が生きておられることと、どのようにして主を見つけて救われることができるかを教えなければならないのだ。

2) その頭も足も内臓も火で焼かなければならない

これは、創世記からヨハネの黙示録まで聖書66巻に記されたすべてのみことばを糧としなければならないという意味である。

聖書を読むとき、レビ記のように理解しにくいみことばは飛ばして読んだり、しるしと不思議は信じない人々もいる。

もし聖書66巻のみことばの中から人間の思いに合わないことを取り除くなら、結局残るのは真理でもなく信仰でもない。それも倫理と道徳に該当することだけ残って、その中でも守りにくくて行いくらいことは心に留めることもないので、いくらみことばを読んでも、永遠のいのちを得ることができない。

神のことばは自分の思いに合う特定の部分だけ取るのではない。聖書66巻に記されたすべてのみことばを完全に信じて糧としてこそ、永遠のいのちを得ることができるのだ。

3) それを朝まで残してはならない、朝まで残ったものは、火で焼かなければならない

これは、夜が明ける前にすべて食べなければならないということである。霊的に「夜」とは敵である悪魔が支配する暗闇の世のことで、「朝」は主が再臨される時のことを言う。つまり、人の子の肉である神のことばを主が再臨される前にすべて食べなければならないということである。

日が経つにつれ世の罪と悪が増大して霊的な夜が深くなれば、時が来て主が再び来られる。それで闇が退いて光が臨み、霊的な朝が来るということだ。この時は、携挙など聖書に記されたすべてのみことばが真実であったということを知るようになる。また、神の子どもとされた聖徒たちがどれほど聖められて報いを積んだのかも明白に現れる。すでに現れた結果については、いくら後悔しても役に立たない。したがって、罪と悪が増大した終わりの時には聖書66巻のみことばをまめに糧として花嫁の備えを終え、再び来られる主を慕って待たなければならない。

愛する聖徒の皆さん、

神のことばをどれほどよく糧としたかによって、この地上だけでなく、永遠の天国でも場所と報いが違い、暮らしの質が変わってくる。したがって、聖書を通して神のことばをそのまま糧とし、やがて天国でも最も美しく栄華を極める場所に入れるように、主の御名によって祈る。



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Global Christian Network

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

私の実家は偶像に仕えていて、家族の間に愛がありませんでした。小さい時、両親にしょっちゅう叩かれました。それでうつ病になって、自殺を試みたこともありました。結婚後、主人と教会に通い始めました。慰められたかったし、幸せに暮らしたかったのですが、主人とよくけんかをして、家に平安がありませんでした。

2010年12月、ルカイスン執事さんから万民中央教会のことを聞きました。『万民ニュース』を読み、「神の力」DVDを見て、神の力あるわざに驚き、とても恵みを受けました。その後、不思議な夢を見たのですが、私の知らない言葉話すたくさんの方がいる所で、私が説教を聞いて賛美しているのです。後でそこが万民中央教会だったことがわかりました。

私は万民中央教会と堂会長イ・ジェロク牧師先生についてもっと知りたくて、ルカイスン執事さんの紹介でマレーシア万民出版社のチョン・デボラ社長に会ってみました。聖書のみことばに込められた霊的な意味を明快に解き明かして、神のまこと



ファンホン執事(41歳、マレーシア・サラワク州)

との子どもとなる方法を提示する聖潔の福音について聞きました。また、竜などの形が偶像だと知って、家に帰って全部捨てました。すると心が楽になって、喜びで満たされました。

私たち家族はイ・ジェロク先生の著書『十字架のことば』『天国』『信仰の量り』『地獄』などを読み始めましたが、とても恵みを受けました。それから家にGCN放送のアンテナを設置して、万民中央教会の礼拝を一緒にささげ始めました。

礼拝のたびにイ・ジェロク先生のいやしの祈りを受けると、持病の頭痛とうつ病、心臓病がいやされました。主人の事業にも祝福が臨んで、けんかの

ない、幸せな笑い声でいっぱいになりました。

感謝なことに2014年8月、サラワク州シブ市に、ルカイスン執事さんの事業場のある建物の中で一緒に礼拝をささげる場所が与えられました。現在、約30人が集まって、GCN放送で万民中央教会の礼拝とダニエル徹夜祈禱会に参加しています。

私たち家族は万民中央教会の教育やキャンプなどの行事に参加するために韓国をよく訪問します。その

たびに聖霊のみわざを目撃し、神様と主の愛で満たされ、天国への希望が加わります。ですから、できるかぎり韓国を訪問しています。美しい聖潔の福音を聞いて私の生き方は変えられ、病気がいやされ、家庭が幸せになりました。

このいのちのみことばを伝えようと、主人の事業場に300冊ほどのイ・ジェロク先生の著書を展示し、ブックフェアで先生の著書を広報しています。尊い牧者に出会うようにして、まことの信仰を持って、いやされて幸せな家庭になるようにくださったイエス・キリストに、すべての感謝と栄光をささげます。

「さわやかな風のような聖霊のみわざで虫垂炎がいやされました」

イ・キスク勸士(73歳、韓国1大大1教区)

2018年3月23日(金)夕方、腹部に言いようもないひどい痛みを感じました。まるで腰が感電したようだったし、頭痛と熱があり、水をちょっと飲んだだけでも吐き気がして、尿もまともに出ませんでした。

翌日24日(土)、超音波検査を受けました。結果は虫垂炎で、虫垂壁が破れれば腹膜炎に進行して、危険なところでした。でも私には堂会長イ・ジェロク牧師先生に祈りを受ければいやされるという確信がありました。以前、他の教会に通いながらも霊的にいつも渴いていて、「いのちのみことばと生ける神様を見つけることのできる教会に導いてください」と祈りを積んで、万民中央教会に導かれたからです。しかも主にあって堂会長先生を通してしるしと不思議、神の力あるわざを数えきれないほど見てきたのです。

私は25日(主日)の朝、堂会長先生に祈りを受けるために車椅子に乗って教会に着きました。先生に祈りを受けた瞬間、胸とおなかに、まるで扇風機をつけておいたかのようにさわやかな風が吹いて、

ポーンと穴があくようだったし、腹部の痛みもなくなって、直ちに車椅子から立ち上がって歩くことができました。28日(水)の超音波検査では虫垂炎がいやされたことが確認できました。ハレルヤ！

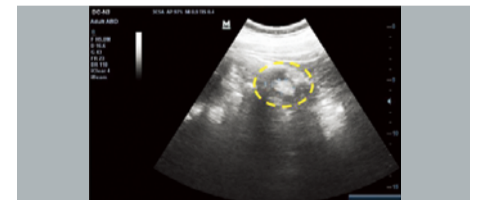
この他にも日常生活の中で神の力をいつも体験していますが、一度は私のミスでひどいけがをしたことがありました。横になって起き上がるとき、硬い物に頭を強くぶつけたのです。吐き気がして、全身が固まる感じがして病院の救急室に行きました。MRI撮影の結果、お医者さんは軽い脳梗塞だと言いましたが、念書を書いて集中治療室から出て来ました。

堂会長先生に祈りを受けた後、すぐ痛みがなくなり、数日後、病院の検査ではきれいだという結果が出ました。このように驚くべき神の力でいやして、感謝と喜びをもって生きるように祝福くださった愛なる神様にすべての感謝と栄光をお帰しします。神の力ある祈りで聖徒たちの毎日をいつも守ってくださる堂会長先生にも深く感謝いたします。



イ・キスク勸士と娘シン・ウンジュ執事

超音波 & CT画像



▲ 祈りを受ける前:虫垂突起炎の原因となる兆候が見え、周りにひどい炎症性所見あり



▲ 祈りを受けた後:炎症で腫れていた虫垂突起が正常に戻っている

9月支教会スケジュール

9月30日(日)	癒し集会	名古屋万民教会(時國みや子牧師)	9月30日(日)	リバイバル癒し集会	松本万民教会(伊藤正明牧師)
9月30日(日)	権能いやし聖会	飯田万民教会(柳承吉牧師)			

「神は生きておられ、力あるいやす主です！」

ポーランドのワルシャワで開かれたWCDN「第15回国際キリスト教医学学会」で堂会長イ・ジェロク牧師の祈りを通していやされた事例発表があり、今日も御力によって働かれる生ける神に栄光を帰した。



リュプカ・タンчева博士(ブルガリア・ディレクター) 脳出血のいやし事例発表

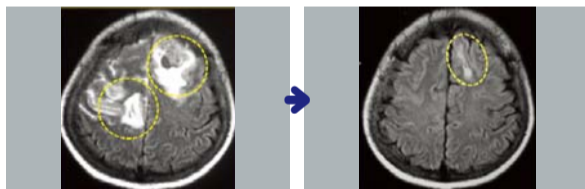


イ・ヨンシム勸士(56歳、韓国)は15日間頭痛があり、1分程度の痙攣があった。ついに目をむいて左側が麻痺して、意識が混濁した。CT撮影の結果、左の前頭葉に脳出血の所見があり、翌日のMRI撮影の結果では、右の脳白質にも出血が進行していた。

2005年4月、脳出血が起こって三日目に、集中治療室にいる彼女のために家族が代わりにイ・ジェロク牧師の祈りを受けると意識が戻り始め、二回目の祈りを受けると左側の麻痺が解け、三回目の祈りを受けた後には歩行が可能になり、物をつかむのも可能になった。

2週間後の5月4日に撮影したMRI所見では、血腫が縮小し、周りの脳浮腫も好転した。発病して9か月後、撮影したCTでは血腫が完全に吸収されて、石灰化されたり嚢腫が形成されたりしないで正常だという所見が見られた。

MRI画像



▲ 大規模な脳出血が両側の脳白質内に見られたが祈りを受けた後には消えている

リディア・コレソバ医師(エストニア、画像医学専門医)

「私は脳出血のいやし事例に非常に感銘を受けました。神の力を見たからです。脳出血で病院に急送されましたが、祈りを受けた数日後、脳出血が全部消えたのです。これは祈りを通して現れた神の力あるわざとしか説明できません。

脳出血は適切に治療できなければ体が麻痺して、健康に深刻なダメージを与えます。普通迅速な手術によってのみ回復可能ですが、このケースでは祈りだけで神の力によって完全にいやされました。主に栄光をささげます！」



バハ・ブニアニャン博士(アルメニア・ディレクター) 心不全のいやし事例発表

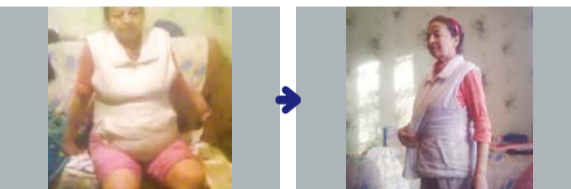


タチアナ・タバヌ聖徒(57歳、モルドバ)は心不全と肝臓肥大、肺性心疾患、循環障害のため両足がむくんで腹水も溜まり、顔までむくんで息をするのも苦しかった。医師は、心臓の右側が肥大化して機能しないことによってこのようになった、適切な治療をしなければ2週間以内に死亡するだろうと言った。

彼女の長男はイ・ジェロク牧師に祈りを依頼した。2014年12月24日、イ・ジェロク牧師は礼拝のいやしの祈りの時、彼女の名前を呼んで祈った。彼女は礼拝の録画を見ながら祈りを受けた。その後、胸に何か詰まっていたものがなくなったのを感じた。心臓がまともに動くのを感じ、息がよくなるようになった。翌日には全身の浮腫が引いて急速に回復し、2015年1月1日には完全に正常になった。間もなく彼女は自由に歩いて動き、走ることもできるようになった。

彼女の長男はイ・ジェロク牧師に祈りを依頼した。2014年12月24日、イ・ジェロク牧師は礼拝のいやしの祈りの時、彼女の名前を呼んで祈った。彼女は礼拝の録画を見ながら祈りを受けた。その後、胸に何か詰まっていたものがなくなったのを感じた。心臓がまともに動くのを感じ、息がよくなるようになった。翌日には全身の浮腫が引いて急速に回復し、2015年1月1日には完全に正常になった。間もなく彼女は自由に歩いて動き、走ることもできるようになった。

祈りを受ける前と後



▲ 肺性心疾患によって全身がむくみ、呼吸困難だったが時間と空間を超えた祈りを受けてむくみが引く。

ポリス・トパー博士(モルドバ、解剖学専門医)

「この事例は神の力でいやされたという非常に確かな事例です。彼女はどんな医学的な助けもなく、祈りだけでいやされました。肺性心と不整脈で全身がむくんで、息もできないで死にかけていた人が祈りだけでいやされたのです。全身のむくみが引いたのは本当に驚くべきことです。生物学的な観点から言えば、簡単なことではありません。さらに驚くべきことは、イ・ジェロク博士は韓国で祈られ、患者はヨーロッパのモルドバで祈りを受けたということです。時間と空間を超えて祈りを受けていやされたということは本当に神のみわざです。」



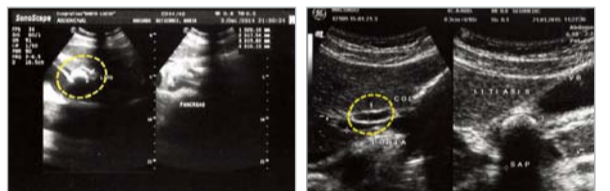
ダニエル・フエンテス博士(メキシコ・ディレクター) 胆嚢疾患のいやし事例発表



マリア・マクアド姉妹(24歳、ペルー)は2014年9月、突然腹痛が始まって超音波検査を受けたが、胆嚢に16.5mm大の胆石が発見された。彼女は信仰によ

っていやされたいと自分を顧みて悔い改めている間に、イ・ジェロク牧師に祈りを受ける夢を見て、いやされたという確信を得た。再び超音波検査を受けた結果、胆石が消えたのを確認した。普通胆管の太さは5mm程度で、胆石がこれより大きければ胆管を通過して排出されないのに、このようなみわざが起きたのだ。

超音波画像

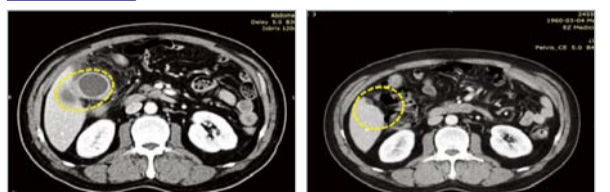


▲ 祈りを受ける前:胆嚢に16.5mm大の胆石がある。
▶ 祈りを受けた後:イ・ジェロク牧師の祈りを受けた夢を見た後、胆石が消える。

キム・ムンセン執事(59歳、韓国)は2017年6月、突然ひどい腹痛が起き、検査をしてみると壊疽性胆嚢炎だった。CT撮影の結果、胆嚢に炎症がひどく、一部分は穴があいて膿が周りに広がって、敗血症にまで進行する可能性があった。しかし、信仰を示してイ・ジェロク牧師に祈りを受けた後には、すでに壊死していた胆嚢が正常に回復した。抗生剤や鎮痛剤は全く使わなかった。



CT画像



▲ 祈りを受ける前:胆嚢が壊死して穿孔し、周囲の炎症反応がひどい
▶ 祈りを受けた後:胆嚢が正常に回復している

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会

〒395-0807 長野県飯田市鼎切石
3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・イエス・キリスト山形万民教会

〒999-3716 山形県東根市蟹沢
1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト旭川万民教会

〒071-8144 北海道旭川市春光台4
条3丁目11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト松本万民教会

〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト東京万民教会

(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪
2-29-13
T) 03-6915-1740

・名古屋万民教会

〒465-0014 名古屋市名東区上菅
1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト別府万民教会

〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町
4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト東京田端万民教会

〒114-1102 東京都北区田端新町3
丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・岡山万民教会

〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢
3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト沖縄万民教会

〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-
10 サンライフ米須301号
T) 098-914-3027